

市場外流通専門部署による販路開拓と直接販売

あいち知多農協(愛知県)

取組の背景

- 知多半島にある3JAが合併してあいち知多農協が誕生した当時(平成12年)、長引く農産物価格の低迷が農家経営を圧迫、後継者不足にもつながり販売事業が減少傾向となっていた。
- そのような中、同じく平成12年にオープンした「げんきの郷」など、地産地消を中心とした市場外流通は増加傾向にあり、立地条件を活かした独自販売チャネルによる販売力強化の構築が求められていた。



取組の概要

- 平成16年に市場外流通機能を強化し、独自販売を拡大することを目的に営業・流通機能を持った専門部署「特販課」を営農部に設置。
- 平成22年には特販課と加工機能を持つ「農産加工課」、産直店舗での販売機能を持つ「グリーンセンター課(現産直課)」の3課で構成する「特販部」を設置。
- 実需者ニーズに基づく作付提案やパッキング販売、加工販売等の付加価値販売に取り組むほか、取引先とは販売条件(価格・規格・取引期間等)をあらかじめ設定した取引を実施し、農業者の所得向上に取り組む。



大手量販店におけるインショップの展開



学校給食への納入

成果

	H16年度	H29年度	対比
農産物販売取扱高(全体)	118億9,147 万円	125億4,963 万円	105 %
うち、市場外流通	21億4,757 万円	42億9,531 万円	200 %
市場外流通が占める割合	18.1 %	34.2 %	+16.1 ㊦
買取額	6,314 万円	※1 17億1,770万円	2,720 %
市場外流通販売先 ※2	16 先	68 先	425 %

※1:平成29年度から取り組み始めた米の全量買取(7億5,426千万円)を含む。

※2:販売先 量販店インショップ、農協関連施設(げんきの郷、加工施設、直営産直施設)、管内5市5町の学校給食 等